

〈注意〉3年生の後期期末テストはありません。

授業の取組、提出物、単元テスト、レポート等で、  
後期期末テストに代わる評価を行います。

## 令和8年度 第3学年 理科 シラバス



### 1. 理科の目標

- ① 身近な自然や身のまわりの現象に進んで関わるができる。
- ② 疑問をもち、それを解決するという目的意識をもって観察・実験を行うことができる。
- ③ 科学的にものごとを考えて、それを説明できる能力を育てることができる。
- ④ 身近な自然や身のまわりの現象についてのきまりや規則に対する理解を深めることができる。

### 2. 評価の観点・評価の方法について

観点	評価の観点		評価方法
[知識・技能]	自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本操作や記録などの基本的な知識及び技能を身につけている。		・レポート(結果等) ・[単元・定期]テスト ・授業・実験観察方法
	第1分野	身近な物理現象、化学変化と原子・分子、運動とエネルギーなど	
	第2分野	いろいろな生物とその共通点、気象とその変化、地球と宇宙など	
[思考・判断・表現]	自然の事物・現象から問題を理解し、見通しをもって観察・実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。		・レポート(考察等) ・[単元・定期]テスト ・授業・実験の発表
	第1分野	身近な物理現象、化学変化と原子・分子、運動とエネルギーなど	
	第2分野	いろいろな生物とその共通点、気象とその変化、地球と宇宙など	
[主体的に学習に取り組む態度]	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。		・ノート ・ワークシート ・レポート ・授業の発言や態度 ・自己評価シート ・ワーク
	第1分野	身近な物理現象、化学変化と原子・分子、運動とエネルギーなど	
	第2分野	いろいろな生物とその共通点、気象とその変化、地球と宇宙など	

○評価：上記3観点をA・B・Cの3段階で表す。

○評定：上記の観点別学習状況の評価をもとにして、1～5の5段階で表す。

### 3. 家庭学習のポイント

- ① 実験・観察や演示実験の前に内容を予習しておくとうい。
- ② 教科書を授業ノートやワークシート、レポート等を復習し、目的から考察までの内容を整理する。
- ③ 実験や観察を行ったときのレポート等は、その日のうちに書くようにするとよい。
- ④ 教科書の単元末の問題やワークの問題などできるだけ多くの問題を解き、授業及び実験の内容をより深める。

単元・教材（3年生の学習内容：140時間）

学期	単元	学習内容	学習活動
前期	化学変化とイオン	<b>第1章 水溶液とイオン</b> 第1節 水溶液と電流 第2節 塩化銅水溶液の中で起こる変化 第3節 イオンと原子のなり立ち <b>第2章 酸、アルカリとイオン</b> 第1節 酸性やアルカリ性の水溶液の性質 第2節 酸性、アルカリ性の正体 第3節 酸とアルカリを混ぜ合わせたときの変化 <b>第3章 化学変化と電池</b> 第1節 電解質の水溶液の中の金属板と電流 第2節 金属のイオンへのなりやすさのちがい 第3節 ダニエル電池 第4節 身のまわりの電池	<ul style="list-style-type: none"> <li>水に電流が流れるのはどのようなときか調べる。</li> <li>塩化銅水溶液に電流が流れるとき、水溶液の中ではどのような変化が起きているか調べる。</li> <li>原子が電気を帯びるとすれば、どのような状態か考える。</li> <li>酸性の水溶液やアルカリ性の水溶液には、それぞれどのような性質があるか調べる。</li> <li>酸性やアルカリ性の水溶液には、それぞれ何が共通して存在しているか調べる。</li> <li>酸の水溶液にアルカリの水溶液を加えていくと、どのような変化が起きるか調べる。</li> <li>どのような金属板と水溶液の組み合わせならば、電流をとり出すことができるか調べる。</li> <li>金属によって陽イオンへのなりやすさに差はあるのか調べる。</li> <li>ダニエル電池はどのようなしくみで電流をとり出しているか調べる。</li> <li>身のまわりの電池はどのような機器に、どのような目的で使われるか考える。</li> </ul>
	生命の連続性	<b>第1章 生物の成長と生殖</b> 第1節 生物の成長と細胞の変化 第2節 無性生殖 第3節 有性生殖 第4節 染色体の受けつがれ方 <b>第2章 遺伝の規則性と遺伝子</b> 第1節 遺伝の規則性 第2節 遺伝子の本体と研究成果の活用 <b>第3章 生物の多様性と進化</b> 第1節 生物の歴史 第2節 水中から陸上へ 第3節 さまざまな進化の証拠 第4節 進化と多様性	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物が成長するとき、細胞はどのように変化するのか調べる。</li> <li>無性生殖は、どのような生殖か考える。</li> <li>有性生殖は、どのような生殖か考える。</li> <li>親から子へ染色体が受けつがれていくときには、どのような決まりがあるのか考える。</li> <li>親の形質は、どのようにして子や孫に受けつがれるのか考える。</li> <li>遺伝子とは、どのようなものなのか考え、遺伝子やDNAに関する研究成果は、どのように利用されているのか考える。</li> <li>セキツイ動物の5つのグループの特徴を関連づけて比較すると、どのようなことがわかるかを考える。</li> <li>陸上で生活するセキツイ動物はどのように進化してきたのか考える。</li> <li>進化の証拠には、どのようなものがあるのか考える。</li> <li>進化と地球上の生物の多様性には、どのような関係があるのか考える。</li> </ul>
後期	運動とエネルギー	<b>第1章 物体の運動</b> 第1節 物体の運動の記録 第2節 物体の運動の速さの変化 第3節 だんだん速くなる運動 第4節 だんだんおそくなる運動 <b>第2章 力のはたらき方</b> 第1節 力の合成と分解 第2節 慣性の法則 第3節 作用・反作用の法則 第4節 水中ではたらく力 <b>第3章 エネルギーと仕事</b> 第1節 さまざまなエネルギー 第2節 力学的エネルギー 第3節 仕事と力学的エネルギー 第4節 仕事の原理と仕事率 第5節 エネルギーの変換と保存	<ul style="list-style-type: none"> <li>水平面上で移動する物体の運動を記録タイマーで記録すると、何がわかるか調べる。</li> <li>物体の運動の速さの変化をくわしく調べるには、どうすればよいか考える。</li> <li>物体がだんだん速くなる運動に、力はどのように関係しているか調べる。</li> <li>物体の運動の向きとは逆向きに一定の力がはたらき続けるとき、物体の速さはどのように変化するか考える。</li> <li>1つの物体に、ある角度をもった2力がはたらくとき、どのように表すことができるかを調べる。</li> <li>力がはたらいていないときや、力がはたらいていても合力が0のとき、物体の運動はどうなるかを考える。</li> <li>ある物体が別の物体に力を加えたとき、2つの物体の間でどのように力をおよぼし合うかを考える。</li> <li>水中の物体にはたらく上向き力の大きさは、物体の何に関係するかを調べる。</li> <li>エネルギーには、どのような形態があるか考える。</li> <li>運動する物体の運動エネルギーと位置エネルギーには、どのような関係があるか考える。</li> <li>仕事と力学的エネルギーには、どのような関係があるか調べる。</li> <li>道具を使うと、仕事の大きさはどのようになるか調べる。</li> <li>さまざまに形態を変えると、エネルギーの総量は、どうなるか考える。</li> </ul>

	<p><b>プロローグ 星空をながめよう</b></p> <p>第1節 太陽</p> <p><b>第1章 地球の運動と天体の動き</b></p> <p>第1節 太陽の1日の動き</p> <p>第2節 地球の自転と方位、時刻</p> <p>第3節 星の1日の動き</p> <p>第4節 天体の1年の動き</p> <p>第5節 地軸の傾きと季節の変化</p> <p><b>第2章 月と金星の見え方</b></p> <p>第1節 月の満ち欠け</p> <p>第2節 金星の見え方</p> <p>第3節 日食と月食</p> <p><b>第3章 宇宙の広がり</b></p> <p>第1節 太陽系の天体</p> <p>第2節 宇宙の広がり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 太陽の表面は、どのようになっているか調べる。</li> <li>• 太陽は、1日でどのように動いて見えるか調べる。また、その理由を考える。</li> <li>• 地球上の方位と時刻は、どのように決められているのか考える。</li> <li>• 地球の自転と星の1日の動きは、どのような関係か調べる。</li> <li>• 真夜中に見られる星座は、1年を通してどのように移り変わるか調べる。</li> <li>• 季節によるさまざまなちがいは、どのようにして生じるか調べる。</li> <li>• 月が満ち欠けをくり返すのはなぜか調べる。</li> <li>• 金星が満ち欠けして見えるのはなぜか調べる。</li> <li>• 月食や日食は、どのようにして起こるのか考える。</li> <li>• 太陽系の天体にはどのようなものがあり、どのような特徴をもっているか調べる。</li> <li>• 私たちは、宇宙のなかのどこにいるのか考える。</li> </ul>
後期	<p>地球と私たちの未来のために</p> <p><b>第1章 自然のなかの生物</b></p> <p>第1節 生態系</p> <p>第2節 生態系における生物のはたらき</p> <p>第3節 生態系と炭素の循環</p> <p><b>第2章 自然環境の調査と保全</b></p> <p>第1節 身近な自然環境の調査</p> <p>第2節 人間による活動と自然環境</p> <p>第3節 自然環境の開発と保全</p> <p><b>地域とつながる</b></p> <p>自然災害と地域のかかわりを学ぶ</p> <p><b>第3章 科学技術と人間</b></p> <p>第1節 さまざまな物質とその利用</p> <p>第2節 カーボンニュートラルの実現に向けた取り組み</p> <p>第3節 科学技術の発展</p> <p><b>終章 持続可能な社会をつくるために</b></p> <p>第1節 地球環境と私たちの社会</p> <p>第2節 持続可能な社会と科学技術</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 生態系では、生物どうしの間にどのような関係が見られるか考える。</li> <li>• 生態系において、それぞれの生物はどのようなはたらきをしているのか考える。</li> <li>• 生物のからだをつくる炭素は、食物連鎖にともなって、生態系をどのように移動しているのか考える。</li> <li>• 生物と自然環境はどのようにかかわっているのか、身近な自然環境を調査して考える。</li> <li>• 自然環境に人間の活動がどのような影響をあたえているのか考える。</li> <li>• 自然環境を保全するためにどのような活動が行われているのか調べる。</li> <li>• 自分たちの住む地域では、どのような災害が起こるおそれがあるか調べる。</li> <li>• 昔と今で、変わってきた素材や製品にはどのようなものがあり、また、なぜ変わってきたのか考える。</li> <li>• カーボンニュートラルの実現のために、どのようなとり組みが求められているか考える。</li> <li>• 科学技術を利用することは、私たちの未来をどのように変えることになるか考える。</li> <li>• 未来の社会のために、私たちは社会にどのようにかかわればよいか考える。</li> </ul>